



八代鹿兒島間官設鐵道敷設速成ニ関スル建議
 寬平謹テ九州實業協會ヲ代表シ本會ノ決議ヲ以
 テ洛下ニ建議ス惟テ交通機關ノ成否ハ殖産興業ノ
 隆替ニ関シ又國防上ノ得喪ニ関スルヤ大ナリ我國始メ
 テ京濱間鐵道ヲ敷設シテヨリ爾未官設及民設ノ
 事業トシテ線路ヲ延長殆ト三千哩ニ及ビ殖産興業モ
 亦隨テ勃興スルニ至レリ然レモ未ダ以テ普及セリト言フベ
 カラス更ニ大ニ其延長ヲ図ルハ國家ノ急務ナリト信ス殊
 ニ狹長ナル我國ノ地勢ニ從ヒ首尾縦貫鐵道ヲ敷設
 ハ最急最要ニ屬ス蓋シ縦貫ノ一大鐵道ハ實ニ交
 通ノ一大動脈ナレバナリ案スルニ夫ノ八代鹿兒島間ヲ
 官設豫定線中着手第一期ノ部ニ編入セラレタル

ハ抑モ之カ故ノミ曩ニ日清交戦終局、后議會該線
繼續六ヶ年工事ヲ短縮シテ繼續五ヶ年トナシ政府
亦之ヲ認可セラレタリ然ルニ政府ハ此重要線路ノ施設ヲ
急ニセラレサルノミナラズ線路ノ實測スラ停止セラレタリ蓋
シ財政ノ許サバハ所ナルニ由ルベシト急之ガ爲ニ此最急
最要ノ事業業ヲ輕視セラレサレコトヲ希望セサルベカラ
ズ今ヤ新領土臺灣ニ於ケル經營ヲ爲スニ當リテハ先
ツ内ハ九州ト陸海運トノ聯絡ヲ固カリ外ハ清韓及
南洋ノ諸島ト相對シ交通貿易ノ業ヲ擴張セザル
ベカラス若シ夫國防上ニ関シテハ臺灣ニ於ケル施政
ノ困難ハ豫想ノ外ニ出デ土匪ノ出沒王化ノ沮滯良
民未ダ堵ニ安スル能ハズ加之東洋ノ風雲日ニ急激


野村胡堂

ヲ加ヘ歐洲列國ハ多クテ清國ヲ分割スルノ實ヲ示セリ唇
齒輔車ノ關係ヲ有スル我國ニシテ豈夫レ影響ナキヲ保セン
ヤ今日ハ實ニ我國威ノ伸縮弛張ニ於テ最重最急ノ時機
ナラズンバアラス而シテ彼岸ニ最モ接近スルハ九州ノ西端即
チ鹿児島ニアラスヤ然ルニ我國ノ縦貫鐵道ハ北ハ青森
ヨリ北海ニ走り西ハ漸ク肥後八代ニ及ビテ止マリ未ダ鹿児
島ニ至ラス而シテ山陽鐵道ノ全通ハ遠キニ出デサル今
日ナルニ拘ラズ八代鹿児島間ノ工事着手ヲ停止シテ顧
サレハ國防上杞憂ニ堪ヘサル所ナリ我九州實業協會
ハ深ク之ニ感スル處アリ八代鹿児島間鐵道布設
ノ急ニ速ナラシメテ希望王シ此決議ヲナセリ閣下據ラバ
此決議ハ九州全般ノ輿論ナルヲ洞察セラレ該鐵

道ヲシテ豫期ノ如ク竣功セシメ内ハ以テ國富ヲ図リ外
ハ以テ國威振張ノ一助トナサレシメテ
頭首再拜

明治三十一年八月三十日

九州實業協會惣代

石野寬平 

内閣總理大臣 伯爵大隈重信殿

野村製